

背景と目的

○県内魚類養殖の課題

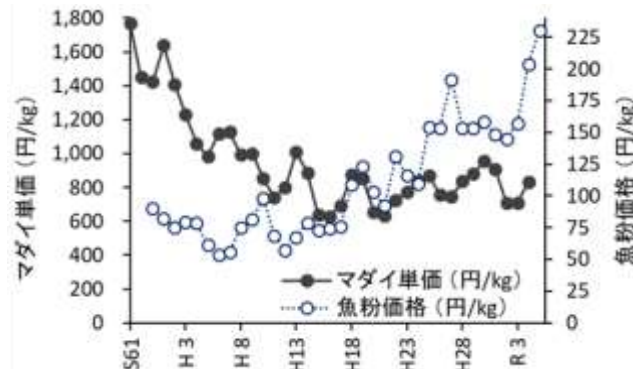
- ・世界的な需要高などにより、飼料価格が高騰
- ・高水温化に伴う魚病被害の増加
- ・給餌作業の負担が大きく、人手不足が深刻

→養殖経営を圧迫



生産効率の改善が必要

マダイ単価・魚粉価格の推移



事業内容

県内における無給餌飼育手法の確立と普及

【事業内容】

無給餌飼育

…魚を1カ月程度絶食させ、その後急激に成長させる飼育手法。
マダイでは通常の飼育手法よりも高成長の結果が得られている。
また、一部の魚病被害を抑制する効果があるとされる。

無給餌飼育による飼育試験を実施する（マダイ・マハタ）

- ・成長性の確認と適切な絶食条件の把握

絶食の効果は環境条件に影響を受けるとされることから、効果的な実施条件を検討する。

- ・免疫系への影響の確認

絶食は免疫系に対し、良い影響を与えるとも、悪い影響を与えるとも言われており、その作用は定かでは無いため、免疫系を損なわない手法を検討する必要がある。

- ・無給餌飼育手法の普及

期待される効果

1. 養殖魚の成長性改善
2. 絶食期間中の飼料コストの削減
3. 魚病被害の抑制
4. 給餌作業負担の軽減による働き方改革の促進



魚類養殖の生産効率が
抜本的に改善される！